

2024年度 愛知学泉大学シラバス

| シラバス番号 | 科目名 | 担当者名 | 実務経験のある教員による授業科目 | 基礎・専門別 | 単位数 | 選択・必修別 | 開講年次・時期 |
|--|-------------|---|------------------|---|-----|--------|---------|
| 221522073 | 公衆栄養学 I | 服部哲也 | | 専門 | 2 | 必修 | 2後期 |
| 科目の概要 | | | | | | | |
| <p>公衆栄養学は、地域や社会集団を対象として栄養上の問題点把握と改善及び疾病予防に重点を置く学問である。本科目では、DP1・2・3に記載があるように、自立した社会人として常に自己研鑽に取り組み、疾病・疾病予防・食育に関する専門知識・技能を身に付け、豊かな食生活と健康を創造することで社会に貢献することができ、建学の精神、社会人基礎力、pisa 型学力を修得して、職場と地域の人々と協働して課題を解決していくことができる管理栄養士の育成を目指す。具体的には、わが国や諸外国における健康・栄養問題の現状と課題を把握するとともに、それらに対応した主要な栄養施策について理解し、人々の日常生活を健康の面から支援することのできる人材を育成する。その学びはじめとして、今後公衆栄養学を活用していく上での前提知識を習得する。</p> | | | | | | | |
| 学修内容 | | | | 到達目標 | | | |
| ① 公衆栄養学の概念について学ぶ ② 健康・栄養問題の現状と課題について学ぶ ③ 公衆栄養の法的基盤や法規に基づく施策の内容を学ぶ | | | | ① 公衆栄養学の意義・目的について、授業内で獲得した知識や用語を活用して説明できる ② 健康や栄養の問題について、その変遷と現状さらに今後の課題についてを把握(獲得)ができ、それぞれ事例を列挙(活用)できる ③ 公衆栄養の法的基盤や、それらに対応する施策を列挙(獲得)できる | | | |
| 学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 | | 学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例 | | | | | |
| 前に踏み出す力 | 主体性 | 与えられた課題にむけて自らアクションを起こす | | | | | |
| | 働きかけ力 | | | | | | |
| | 実行力 | 計画だけでなく、具体的な行動を実施する | | | | | |
| 考え抜く力 | 課題発見力 | 授業内の課題から「自らの課題」を見つけ出す | | | | | |
| | 計画力 | | | | | | |
| | 創造力 | 既存の理論や現状をふまえた上で、自らのアイデアを付加した意見を考える | | | | | |
| チームで働く力 | 発信力 | 自らの考え・アイデアを相手が理解できる形で伝える | | | | | |
| | 傾聴力 | 相手が伝えたい内容と聞き取った自らの理解をすり合わせる（＝きちんと確認を取る） | | | | | |
| | 柔軟性 | | | | | | |
| | 状況把握力 | | | | | | |
| | 規律性 | ルール設定の意味を考え、適切に設定する | | | | | |
| | ストレスコントロール力 | | | | | | |
| テキスト及び参考文献 | | | | | | | |
| テキスト：管理栄養士養成のための栄養学教育モデル・コア・カリキュラム準拠 公衆栄養学 公衆栄養活動の実践のための理論と展開 特定非営利活動法人日本栄養改善学会監修 ／酒井徹・由田克士 編（医歯薬出版） 参考書：わかりやすいEBNと栄養疫学 佐々木 敏 著（同文書院） | | | | | | | |
| 他科目との関連、資格との関連 | | | | | | | |
| 「公衆栄養学I」は専門分野の公衆栄養学分野の科目の一部であり、「応用栄養学I」をはじめとした科目で獲得した知識・技術を活用する。また、「公衆栄養学I」は、その後に履修する「公衆栄養学II」「公衆栄養学実習」などの基盤となる科目である。 資格との関連：栄養士、管理栄養士、栄養教諭一種、食品衛生管理者・監視員 | | | | | | | |
| 学修上の助言 | | | | 受講生とのルール | | | |
| 学修する内容は、目の前の現実社会における課題と直結しています。それは食生活、栄養とどのような関わりがあるのか、身近な情報源（ニュース等）を見てみましょう。 | | | | 公衆栄養の実践には多くの科目が関連します。これまでに学修した科目との関連性を意識しながら授業に臨んでください。 | | | |

【評価方法】

| 評価対象 | 評価方法 | | 評価の割合 | 到達目標 | | 各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント | |
|-----------------------|--------------|--------------------|-------|------|---|--|--|
| 学修成果 | 学期末試験 | 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験 | 50 | ① | ✓ | 授業内で紹介した内容を理解し、正しい回答をできるか、また自身の見解を論理的な文章で論じているかを評価する。テキスト、資料、ノート等持込不可とする。 獲得活用解決の評価割合は以下の通りとする。 知識の獲得(健康・栄養問題の現状と課題、栄養政策の知識)：80% 知識の活用(健康・栄養問題の現状と課題を抽出できる)：10% 知識の解決(健康・栄養問題の現状と課題を解決するための具体案が提案できる)：10% | |
| | | | | ② | ✓ | | |
| | | | | ③ | ✓ | | |
| | | | | | | | |
| | 平常評価 | 小テスト | | 40 | ① | ✓ | 前回の授業内容を理解できているかを確認するため、毎授業の冒頭に小テストを実施する。 ・選択問題等の形式にて出題する。 ・出題範囲は、前回の授業で学修した内容とする。 ・小テストは採点后返却するため、復習に活用すること。 獲得活用解決の評価割合は以下の通りとする。 知識の獲得(健康・栄養問題の現状と課題、栄養政策の知識)：80% 知識の活用(健康・栄養問題の現状と課題を抽出できる)：10% 知識の解決(健康・栄養問題の現状と課題を解決するための具体案が提案できる)：10% |
| | | | | | ② | ✓ | |
| | | | | | ③ | ✓ | |
| | | | | | | | |
| | | レポート | | 0 | ① | | |
| | | | | | ② | | |
| 成果発表（プレゼンテーション・作品制作等） | | 0 | ① | | | | |
| | | | ② | | | | |
| 学修行動 | 社会人基礎力（学修態度） | | 10 | ① | ✓ | (主体性) ・与えられた課題にむけて自らアクションを起こすことができる (実行力) ・計画だけでなく、具体的な行動を実施することができる (課題発見力) ・授業内の課題から「自らの課題」を見つけ出すことができる (創造力) ・既存の理論や現状をふまえた上で、自らのアイデアを付加した意見を考えることができる (発信力) ・自らの考え・アイデアを相手が理解できる形で伝えることができる (傾聴力) ・相手が伝えたい内容と聞き取った自らの理解をすり合わせる (規律性) ・ルール設定の意味を考え、適切に設定することができる 例) 6 回以上の欠席は0 (放棄) 判定となるルールを守るなど | |
| | | | | ② | ✓ | | |
| | | | | ③ | ✓ | | |
| | | | | | | | |
| 総合評価割合 | | | 100 | | | | |

【到達目標の基準】

| 到達レベルS(秀)及びA(優)の基準 | 到達レベルB(良)及びC(可)の基準 |
|--|---|
| 公衆栄養の概念、健康や栄養に関わる現状、公衆栄養に関する法規と施策についての知識を理解したうえで、それを活用してワークの課題に取り組むことができる。S の場合には、今後の公衆栄養に資する法的及び制度的枠組みの提案をすることができる。 | 公衆栄養の概念、健康や栄養に関わる現状、公衆栄養に関する法規と施策についての知識を理解し、重要事項の用語を述べるることができる。さらにB の場合には、学んだ事項に対する自身の解釈を述べるることができる。 |

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|---|--|---|--|--|-------|--------------|
| 1 | 0. イントロダクション 1. 公衆栄養の概念 (第1回) 1-1. 公衆栄養ってどんなもの | 講義とグループワーク・ディスカッション (google meet) | 公衆栄養学I の大まかな学修スケジュールについて説明できる 公衆栄養学の意義・目的について、授業内で紹介した用語を用いて説明できる | (予習) 本科目のシラバスを読んでおく (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える | 180 | 課題発見力 傾聴力 |
| 2 | 1. 公衆栄養の概念 (第2回) 1-2. 公衆栄養活動の概要 | 小テスト (google forms) 講義とグループワーク・ディスカッション (google meet) | 公衆栄養学活動について、授業内で紹介した用語を用いて説明できる | (予習) 教科書p17-33に目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える | 180 | 創造力 傾聴力 |
| 3 | 2. 健康・栄養問題の現状と課題 (第1回) 2-1. いまの社会の健康・栄養問題 | 小テスト (google forms) 講義(前回の小テストの解説含)とグループワーク・ディスカッション (google meet) | 健康や栄養の問題について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる | (予習) 教科書のp33-37に目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える | 180 | 課題発見力 傾聴力 |
| 4 | 2. 健康・栄養問題の現状と課題 (第2回) 2-2. 健康状態の変化 | 小テスト (google forms) 講義(前回の小テストの解説含)とグループワーク・ディスカッション (google meet) | 健康や栄養の問題について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる | (予習) 教科書のp39-45に目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える | 180 | 課題発見力 傾聴力 |
| 5 | 2. 健康・栄養問題の現状と課題 (第3回) 2-3. 食を取り巻く環境の変化 | 小テスト (google forms) 講義(前回の小テストの解説含)とグループワーク・ディスカッション (google meet) | 健康や栄養の問題について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる | (予習) 教科書のp45-48に目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える | 180 | 課題発見力 傾聴力 |
| 6 | 2. 健康・栄養問題の現状と課題 (第4回) 2-4. 諸外国の健康・栄養問題の現状と課題 | 小テスト (google forms) 講義(前回の小テストの解説含)とグループワーク・ディスカッション (google meet) | 健康や栄養の問題について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる | (予習) 教科書のp48-53に目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える | 180 | 発信力 傾聴力 |
| 7 | 3. 栄養政策 (第1回) 3-1. 健康づくり活動の概要 | 小テスト (google forms) 講義(前回の小テストの解説含)とグループワーク・ディスカッション (google meet) | 栄養政策について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる | (予習) 教科書のp53-60に目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える | 180 | 主体性 実行力 |
| 8 | 3. 栄養政策 (第2回) 3-2. 公衆栄養関連の法律(1) | 小テスト (google forms) 講義(前回の小テストの解説含)とグループワーク・ディスカッション (google meet) | 栄養政策について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる | (予習) 教科書のp61-67に目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える | 180 | 課題発見力 傾聴力 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

| 週 | 学修内容 | 授業の実施方法 | 到達レベルC(可)の基準 | 予習・復習 | 時間(分) | 能力名 |
|----|------------------------------------|--|-------------------------------------|---|-------|-------------------|
| 9 | 3. 栄養政策 (第3回) 3-2. 公衆栄養関連の法律(2) | 小テスト(google forms) 講義(前回の小テストの解説含)とグループワーク・ディスカッション(google meet) | 栄養政策について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる | (予習) 教科書のp67-74に目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える | 180 | 課題発見力 傾聴力 |
| 10 | 3. 栄養政策 (第4回) 3-3. 管理栄養士の法律・制度 | 小テスト(google forms) 講義(前回の小テストの解説含)とグループワーク・ディスカッション(google meet) | 栄養政策について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる | (予習) 教科書のp75-84に目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える | 180 | 課題発見力 傾聴力 |
| 11 | 3. 栄養政策 (第5回) 3-4. 公衆栄養行政と行政栄養士 | 小テスト(google forms) 講義(前回の小テストの解説含)とグループワーク・ディスカッション(google meet) | 栄養政策について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる | (予習) 教科書のp84-94に目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える | 180 | 主体性 課題発見力 |
| 12 | 3. 栄養政策 (第6回) 3-5. 健康づくり施策 | 小テスト(google forms) 講義(前回の小テストの解説含)とグループワーク・ディスカッション(google meet) | 栄養政策について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる | (予習) 教科書のp94-100に目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える | 180 | 主体性 課題発見力 |
| 13 | 3. 栄養政策 (第7回) 3-6. 国民健康・栄養調査 | 小テスト(google forms) 講義(前回の小テストの解説含)とグループワーク・ディスカッション(google meet) | 栄養政策について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる | (予習) 教科書のp100-106に目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える | 180 | 主体性 発信力 |
| 14 | 3. 栄養政策 (第8回) 3-7. 諸外国の健康・栄養施策 | 小テスト(google forms) 講義(前回の小テストの解説含)とグループワーク・ディスカッション(google meet) | 栄養政策について、授業内で紹介した用語を用いて少なくとも一つ列挙できる | (予習) 教科書のp107-118に目を通す (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめ、小テストに備える | 180 | 課題発見力 傾聴力 |
| 15 | まとめ | 小テスト(google forms) 講義(前回と今回の小テストの解説含)とグループワーク・ディスカッション(google meet) | 公衆栄養学I で学んだ内容について、少なくとも三つ列挙できる | (予習) 教科書のp1-118に目を通す(今までの学修内容をおさらいしておく) (復習) 講義内容を整理して重要点をまとめる | 180 | 主体性 傾聴力 規律性 |

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力